

ライフサイクルコストを考慮したトンネルの維持管理に関する研究

インフラを長く使用してゆくための“考え方”や“方法”を検討する、ライフサイクルマネジメントの研究のひとつとして

- ①「メンテナンスサイクルの最適化」に関する“考え方”を教えてください(とくに点検計画)
- ②「効果的な延命対策」に関する“方法”を知りたい

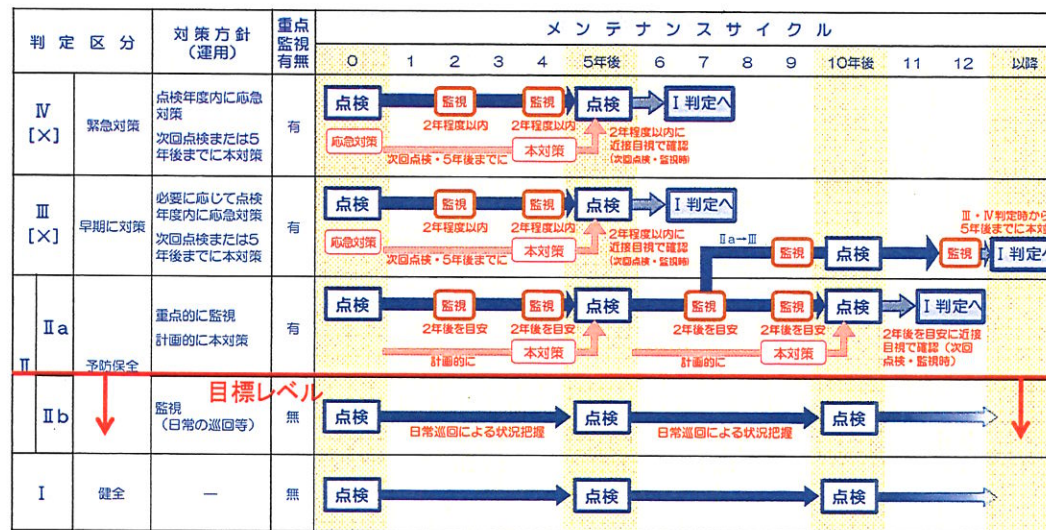


図-判定区分毎の標準点検サイクル～年度間の点検費用に偏りができてしまう

【背景】

- 北海道開発局が管理する道路トンネルは、平成27年12月31日現在269本(総延長214km)です
- トンネル建設後の平均経過年数は約27年、また建設後50年を超えるトンネル本数の割合は、現在の約10%が、20年後には約44%となり高齢化が急速に進んでいく状況です
- さらに気象条件の厳しい北海道においては、凍結融解作用などの影響により劣化進行が早い傾向があるため、定期点検による確実な状態把握(早期発見)、点検結果に基づく確実な対策(早期補修)の必要性に迫られています

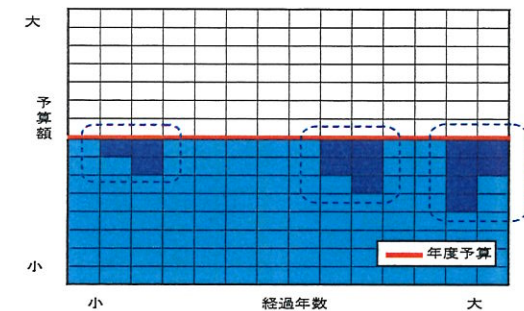
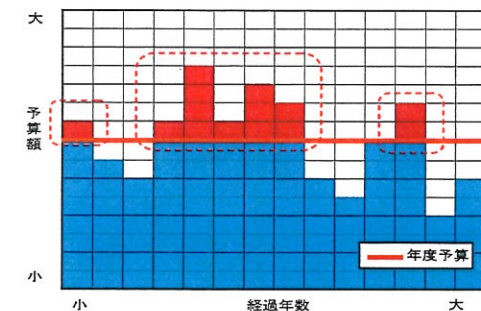


図-平準化のイメージ